— ]	引工業局	等専門学権	交   開講年月	度 令和03年度(2	2021年度)	授業科目	電気法規・	
科目基					,			
科目番号		0064			科目区分	専門 / 選		
					単位の種別と単位			
		講義		<b>ラフ</b> ズ)			履修単位: 1	
			造工学科(電気・	電子糸)	対象学年 週時間数		5	
開設期 後期 電気はおり						2		
教科書/教				(令和3年度版) 竹野	正二著 東京電機大	C学出版局 2,9	70円	
担当教員		明石尚	50000000000000000000000000000000000000					
到達目	標							
現代社会 設備の安 【教育目	において 全な運用 標】 D	電気設備が具 に必要となる	!備すべき安全性と 5法的手続きや義務	経済性について 学び, について理解する。	関連する諸法規が	定める技術的根拠	心理解を通じる	て,電気技術者として
ルーブ	リック							
			理想的な到達	レベルの目安	標準的な到達レベ	いいの目安	未到達レベル	の目安
①現代社会において電気設備すべき安全性と経済性に 理解する。			「 現代社会に すべき安全性 解できる。	:  すべき安全性と経済性について 理		現代社会において電気設備が具備すべき安全性と経済性について 理解できる。		らいて電気設備が具備 と経済性について 理
ショックで ②関連する諸法規が定める技 根拠について理解する。			り 関連する諸法規が定める技術的根 拠について理解できる。		関連する諸法規が定める技術的根 拠について理解できる。		関連する諸法拠について理	規が定める技術的根 関解できない。
運用に必 務につい	要となる て理解す		・義 用に必要とな について理解	電気技術者として設備の安全な運 用に必要となる法的手続きや義務 について理解できる。		設備の安全な運 的手続きや義務 る。	電気技術者として設備の安全な運用に必要となる法的手続きや義務 について理解できない。	
学科の	到達目標	票項目との	関係					
教育方法	法等							
	<u>-</u>	本講義	は現代社会におい	て電気設備が具備すべ	き安全性と経済性に	 こついて 学び,関	連する諸法規力	 が定める技術的根拠の
既要		理解を	通じて,電気技術	者として設備の安全な	運用に必要となる法	と的手続きや義務	について理解す	る。
受業の進	め方・方	法 「授業	項目」に対応する	教科書の内容を事前に	読んでおくこと。ま	た, ノートの前	回の授業部分を	後習しておくこと。
主意点		試験結	果(100%)で評値	あする 詳細け第1回	日の哲学で生切する			
				叫りる。 叶州はおエ巴	日の技未し古和りる	) o		
授業の	属性・履			<b>画する。中州は光1日</b>	日の技業で日知する	)		
		<b>愛修上の区</b>	分	<b>画する。叶州は先1日</b>		70	□□宝黎経驗	のある教員による授挙
	属性・履	<b>愛修上の区</b>		世 9 公。 叶州(6分 1 円)	□ 遠隔授業対応	70	□ 実務経験	のある教員による授美
□ アク:	ティブラ-	<b>愛修上の区</b>	分	шч обущина обучшина обу		70	□ 実務経験	のある教員による授業
	ティブラ-	優修上の区 ーニング	分 ☑ ICT 利用	I - КЫШФН «СУСШ	☑ 遠隔授業対応			のある教員による授業
□ アク:	ティブラ-	<b>夏修上の区</b> -ニング 週	分	M I cKもMM中 。G K M	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標		のある教員による授業
□ アク:	ティブラ-	優修上の区 ーニング	分 ☑ ICT 利用 ☑ 授業内容	の他の関係法規(1)	☑ 遠隔授業対応		<u> </u>	
□ アク:	ティブラ-	<b>夏修上の区</b> -ニング 週	分 □ ICT 利用 □ 授業内容 電気事業法とそ		☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標	[ ], 関係法規を理	里解できる.
□ アク:	ティブラ-	夏修上の区 -ニング 週 1週	分 □ ICT 利用 □ 授業内容 電気事業法とそ	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2)	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標 電気事業法の目的	、 」,関係法規を理 」,関係法規を理	里解できる. 里解できる.
□ アク:	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週	分 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 授業内容 電気事業法とそ 電気事業法とそ 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1)	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標 電気事業法の目的 電気事業法の目的 電気設備に関する	、 」,関係法規を理 」,関係法規を理 が技術基準を理解	里解できる. 里解できる. 译できる
□ アク:	ティブラ-	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週	分 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 授業内容 電気事業法とそ 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2)	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する	。 ],関係法規を理 ],関係法規を理 技術基準を理解 技術基準を理解	里解できる. 里解できる. 遅できる 遅できる
□ アク:	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	分 図 ICT 利用 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3)	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する	[ ],関係法規を理 ],関係法規を理 対抗基準を理解 技術基準を理解 対抗基準を理解	里解できる. 里解できる. 驿できる 驿できる 译できる
□ アク:	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	分 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4)	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する	、 」,関係法規を理 」,関係法規を理 が技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 対域を選挙を理解 が対象	里解できる. 里解できる. 译できる 译できる 译できる 译できる
□ アク:	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	分 図 ICT 利用  授業内容 電気事業法とそ 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5)	☑ 遠隔授業対応 〕 〕 〕 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する	関係法規を理例 対例を表現を理例 対例を基準を理例 対例を基準を理例 対例を基準を理例 対例を基準を理例 対例を表述を理例 対例を表述を理例	里解できる. 里解できる. 译できる 译できる 译できる 译できる 译できる
□ アク <del>:</del>	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	分 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6)	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する	見 「関係法規を理 対が基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解	里解できる. 里解できる. 曜できる 曜できる 曜できる 曜できる 曜できる
」 <i>アク</i> ₹	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	分 図 ICT 利用 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(6)	□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する	別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別	里解できる. 里解できる. 遅できる 译できる 译できる 译できる 译できる 译できる 译できる
」 <i>アク</i> ₹	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	分 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(6)	□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する	別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別	里解できる. 里解できる. 遅できる 译できる 译できる 译できる 译できる 译できる 译できる
」 <i>アク</i> ₹	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	分 図 ICT 利用 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(7)	□ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する	「 」,関係法規を理 り、関係法規を理 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解 技術基準を理解	里解できる. 里解できる. 軽できる 遅できる 遅できる 遅できる 遅できる 遅できる 遅できる 遅できる
」 <i>アク</i> ₹	声ィブラ- 画 3rdQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	分 図 ICT 利用  授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8)	□ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する	「 」,関係法規を到 」,関係法規を到 」技術基準を理解 」技術基準を理解 」技術基準を理解 」技術基準を理解 」技術基準を理解 」技術基準を理解 」技術基準を理解 」技術基準を理解 」技術基準を理解	里解できる. 里解できる. 異できる。 異できる 異できる 異できる 異できる 異できる 異できる 異できる 異できる
」 <i>アク</i> ₹	画	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 91 91 11週	分 図 ICT 利用  授業内容  電気事業法とそ  電気事業法とそ  電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(7) 基準(8) 1)	□ 遠隔授業対応	周ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する	関係法規を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例	里解できる. 里解できる. 異解できる.  解できる 解できる 解できる 解できる 解できる 解できる 解できる 解でき
」 <i>アク</i> ₹	声ィブラ- 画 3rdQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	分 図 ICT 利用  授業内容 電気事業法とそ 電気事業法とそ 電気設備の技術	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2)	□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送	「 」,関係法規を理 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 りたででである。 は、発電所の運用 のででである。 のででは、発電所の運用 のででである。 のででである。 のででは、発電所の運用 のででである。	里解できる. 里解できる. 異解できる。 程できる 程できる 程できる 程できる 程できる 程できる 程できる 程できる
□ アク <del>:</del>	声ィブラ- 画 3rdQ	震修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	分 図 ICT 利用 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気に設備の技術 電気に設備の技術 電気施設管理 (電気施設管理 (電気施設管理 (電気施設管理 (電気施設管理 (	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2)	□ 遠隔授業対応	過ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送	「 」,関係法規を理 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 り技術基準を理解 りたででである。 は、発電所の運用 のででである。 のででは、発電所の運用 のででである。 のででである。 のででは、発電所の運用 のででである。	里解できる. 里解できる. 異解できる。 程できる 程できる 程できる 程できる 程できる 程できる 程できる 程できる
」 <i>アク</i> ₹	声ィブラ- 画 3rdQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	分 図 ICT 利用  授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気に設備の技術 電気に設備の技術 電気に設管理( 電気施設管理( 電気施設管理( 期末試験	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3)	□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送	別、関係法規を理 対が基準を理解 対が基準を理解 対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 、発電所の運 、発電所の運 、発電所の運 、発電所の運	里解できる. 里解できる. 里解できる. 異できる。 解できる。 用を理解できる。 用を理解できる。 用を理解できる。
□ アク <del>?</del> 受業計i	声ィブラ- 画 3rdQ 4thQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	分 図 ICT 利用  授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気に関係の技術 電気に関係の技術 電気に関係の技術 電気があいます。	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4)	□ 遠隔授業対応	過ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送	別、関係法規を理 対が基準を理解 対が基準を理解 対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 対対が基準を理解 、発電所の運 、発電所の運 、発電所の運 、発電所の運	里解できる. 里解できる. 里解できる. 異できる。 解できる。 用を理解できる。 用を理解できる。 用を理解できる。
」 <i>アク</i> : 授業計i 後期	声ィブラ- 画 3rdQ 4thQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Jキュラム	分 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気に強にです 電気施設管理(電気施設管理(電気施設管理(期末試験 電気施設管理(の学習内容と至	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(5) 基準(6) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4)	□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送	関係法規を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 大が、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列	里解できる. 里解できる. 異解できる. 異できる。 異を理解できる。 目を理解できる。 目を理解できる。 目を理解できる。
□ <i>アク</i> : 授業計 後期	画 3rdQ 4thQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	分 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気に強にです 電気施設管理(電気施設管理(電気施設管理(期末試験 電気施設管理(の学習内容と至	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4)	□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送	関係法規を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 大が、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列	里解できる. 里解できる. 里解できる. 異できる。 解できる。 用を理解できる。 用を理解できる。 用を理解できる。
<ul><li>□ アクラ</li><li>受業計</li><li>● モデル</li><li>分類</li></ul>	画 3rdQ 4thQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Jキュラム	分 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気に強にです 電気施設管理(電気施設管理(電気施設管理(期末試験 電気施設管理(の学習内容と至	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(5) 基準(6) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4)	□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送	関係法規を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 対抗が基準を理例 大が、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列 、発電所の運列	里解できる. 里解できる. 異解できる. 異できる。 異を理解できる。 目を理解できる。 目を理解できる。 目を理解できる。
」 アクラ 受 <b>業計</b> 受 <b>業計</b>	画 3rdQ 4thQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Jキュラム	分 図 ICT 利用 授業内容 電気事業法とそ 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気設備の技術 電気に強にです 電気施設管理(電気施設管理(電気施設管理(期末試験 電気施設管理(の学習内容と至	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(5) 基準(6) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4)	□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送	別,関係法規を理 別,関係法規を理 別,関係法規を理 的技術基準を理解 的技術基準を理解 的技術基準を理解 的技術基準を理解 が技術基準を理解 が、発電所の運	里解できる. 里解できる. 異解できる. 異できる。 異を理解できる。 目を理解できる。 目を理解できる。 目を理解できる。
<ul><li>アクラ</li><li>授業計</li><li>・</li></ul>	画 3rdQ 4thQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 フラム 分野	分 図 ICT 利用     授業	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4)    達目標   学習内容の到達目	□ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送	別,関係法規を到 別,関係法規を理 別,関係法規を理 別 対 が基準を理解 が技術基準を理解 が技術基準を理解 が技術基準を理解 が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	里解できる. 里解できる. 異解できる. 異できる。 異なできる。 異な理解できる。 まを理解できる。
□ アクラー 授業計 後期 ・ デ類 価割 ・ 総合評価	画 3rdQ 4thQ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 フナュラム 分野 試験 100	分 図 ICT 利用     授業内容     電気事業法とそ     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気に設けでする。     電気にはいる。     電気施設管理(     電気施設管理(     電気施設管理(     関東気施設管理(     関東気施設管理(     関東気施設管理(     関東気施設管理(     関東を登り答と至     学習内容	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4) 5)  達目標   学習内容の到達目を	□ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関するる電気設備に関するる電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送であるの対率があるの対率があるの対率があるの対率を対しています。	「別係法規を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を	里解できる. 里解できる. 異解できる. 異できる。 異な理解できる。 まを理解できる。
<ul><li>□ アクラ</li><li>授業計</li><li>一 デカ ( )</li></ul>	画 3rdQ 4thQ コアカ! 合 割合	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週 15週 16週 79 30 90 90 90 90 90 90 90 90 90 9	分 図 ICT 利用     授業内容     電気事業法とそ     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気に設備の技術     電気に設けでする。     電気施設管理(     電気施設管理(     電気施設管理(     電気施設管理(     電気施設管理(     電気施設管理(     電気を強いない。     で学習内容     発表     の     の     の	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4) 5)   達目標	意隔授業対応	周ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設強備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送であるの効率を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	「関係法規を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を	里解できる. 里解できる. 異解できる。 異できる 異できる 異できる 異できる 異できる 異できる 異できる 異できる
<ul><li>アクラ</li><li>授業計</li><li>・ デー</li><li></li></ul>	画 3rdQ 4thQ コアカ! 合 割合 はカ	夏修上の区 -ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 フナュラム 分野 試験 100	分 図 ICT 利用     授業内容     電気事業法とそ     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気設備の技術     電気に設けでする。     電気にはいる。     電気施設管理(     電気施設管理(     電気施設管理(     関東気施設管理(     関東気施設管理(     関東気施設管理(     関東気施設管理(     関東を登り答と至     学習内容	の他の関係法規(1) の他の関係法規(2) 基準(1) 基準(2) 基準(3) 基準(4) 基準(5) 基準(6) 基準(7) 基準(8) 1) 2) 3) 4) 5)  達目標   学習内容の到達目を	□ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	週ごとの到達目標電気事業法の目的電気事業法の目的電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関する電気設備に関するる電気設備に関するる電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送電気の効率的輸送であるの対率があるの対率があるの対率があるの対率を対しています。	「別係法規を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を理解を	里解できる. 里解できる. 理解できる. 解できる。 用を理解できる。